

# 大分空港を起点としたMaaS検討部会 第4回資料

---

令和4年9月2日(金)

# 大分空港を起点としたMaaSの導入に向けた方向性

- 大分空港を起点としたMaaSの導入を検討するに当たっては、**空港直行アクセスのみではなく、国東、別府、大分等のエリアにおける利便性向上も含めて**、それぞれのモードごとに取組内容を検討することが必要。

📱 大分空港を起点とした複数の公共交通を最適に組み合わせ、検索・予約・決済までを一括で行うサービスの構築。

📱 交通機関だけでなく観光施設等の情報やサービスとの連携も見据えた取組も検討。



大分空港を起点としたMaaS実証実験のイメージ

## 📱 空港アクセスバス

(一例)

- ①いつでもどこでもアプリを使って乗車したい便のチケット購入可能
- ②スマホの画面提示により降車が可能
- ③混雑状況や購入状況等が閲覧可能

## 📱 路線バス

(一例)

- ①時間内乗り放題のタイムチケットの導入
- ②スマホ画面（アクティブ状態）を提示することで、その間自由に乗降が可能
- ③おすすめの観光施設情報等と連携した情報発信や割引クーポンの付与等

## 📱 タクシー

(一例)

- ①ワンアプリで、配車予約から決済まで一括で利用可能

# 大分空港を起点としたMaaS実証実験の方針

## ①シームレスな移動の実現

- ・ 1つのアプリで検索、予約、キャッシュレス決済、非接触による運用が可能
- ・ 大分空港を起点とした多様な交通モードとの連携
- ・ バスロケーションシステム等のリアルタイム情報と連携
- ・ 既存チケットのデジタル化

## ②観光・商業との連携

- ・ 観光や商業とタイアップした魅力的なデジタルチケットの造成
- ・ 観光情報やイベント情報をアプリ上で利用者に提供
- ・ 積極的なPRの実施

## ③インバウンド対策

- ・ インバウンドを視野に入れた英語、韓国語、中国語等多言語への対応
- ・ インバウンド向け観光商品の造成

## ④今後につながる分析

- ・ 実証事業後、事業者へのヒアリングや利用者アンケート等を実施
- ・ MaaS導入にあたってのメリット・デメリットの分析

# 今回の実証実験で提供するサービス

## プロポーザル結果

### 大分空港を起点としたMaaS実証実験委託業務共同企業体

(代表構成員) 九州旅客鉄道株式会社

(構成員) 第一交通産業株式会社

(構成員) 西日本鉄道株式会社

(構成員) トヨタファイナンシャルサービス株式会社

## 使用するアプリ

**my route** (トヨタファイナンシャルサービス株式会社)



共同企業体より実証実験の概要説明をお願いします。

# 今回の実証実験で提供するサービス(例)

- 大分空港を起点としたMaaSの導入を検討するに当たっては、空港直行アクセスのみではなく、国東、別府、大分等のエリアにおける利便性向上も含めて、それぞれのモードごとに取組内容を検討することが必要。実際に連携するサービスについては協議の上決定します。



大分空港を起点としたMaaS実証実験のイメージ

## 📱 空港アクセスバス

- ・デジタルチケット  
(エアライナー、サウスライナー、湯布院ライナー)

## 📱 路線バス

- ・フリー乗車券
- ・モンキーマリンチケット等観光施設とタイアップしたチケット
- ・(バスロケーションシステム、高速バスとの連携も検討)

## 📱 タクシー

- ・第一交通産業(株)  
※配車アプリ「モタク」とmy routeは連携済みであり、  
実証実験でのサービス提供が可能

## 📱 その他の交通

- ・レンタカー ※一部my route連携済み
- ・JR ※my route連携済み
- ・カーシェア ※一部my route連携済み
- ・シェアサイクル

## 📱 観光施設・情報

- ・ツーリズムおおいた

## 📱 商業施設

- ・空港ターミナル



# 実証実験後、実装に向けたサービスの拡大

## サービス拡大のイメージ



### 実証実験のイメージ

☑ 空港アクセスバス

☑ 路線バス

☑ タクシー

☑ その他の交通

☑ 観光施設・情報

☑ 商業施設

・ 連携事業者の拡大

・ 次世代モビリティサービスやホバークラフト（R5年度末就航予定）との連携

・ 魅力的なデジタルチケットの造成

☑ 宿泊施設

☑ 対応エリア拡大

☑ その他、多種多様なサービスの展開

「九州MaaS」等  
最新の潮流



持続可能なサービスの構築

# 空港MaaS実証実験に向けたスケジュール(案) 9.2時点

